

平成 26 年度第 2 回小金井ボランティア・市民活動センター
運営委員会 議事録

1. 日 時 平成 26 年 12 月 8 日（月）午後 6 時 30 分～8 時 30 分

2. 場 所 福祉会館 2 階会議室

3. 出 席 者 運営委員（10 名）

山路 憲夫（委員長） 亘理 千鶴子（副委員長） 古明地 節子
渡辺 一弘 平野 尚 緒方 澄子 森田 眞希 松井 太平
石原 弘一 雨宮 安雄

事務局

小俣 敏行常務理事 泉 浩事務局長
大木 克之事務局次長 小早川 良信係長
近江屋 哉子主事 嶋田 直人担当

市民協働支援センター準備室

福田 協司市民協働推進員 沼田 禎人市民協働推進員

欠席者

熊谷 紀良 梶野 ひづる 平岡 良一

4. 議 題

- 1) 事業報告について
- 2) 事業予定について
- 3) 地域福祉コーディネーター事業について
- 4) 市民協働支援センター準備室の活動状況について
- 5) 次年度事業計画について（案）
- 6) その他

5. 経 過

山路 憲夫委員長より平成 26 年度第 2 回小金井ボランティア・市民活動センター運営委員会の開会が告げられ、本日の議題を紹介した後、審議に入った。

1) 平成 26 年度事業報告について

委員長より平成 26 年度事業報告を求められたので、事務局は資料 1（1～4 頁）に基づいて平成 26 年 7 月 1 日から 11 月 23 日までの小金井ボランティア・市民活動セ

ンター（以下「ボランティアセンター」という）の活動内容を報告した。

委員長よりこの報告についての質問、意見を求められ、以下の質疑応答並びに意見が交わされた。

（山路 憲夫委員長）

色々なことが熱心になされている中で、特に、災害対策、災害ボランティア部分で例年と違ったことがありましたか。

（嶋田 直人担当）

市総合防災訓練には、「災害ボランティア養成講座」の参加者が4名加わっていただき、災害窓口の応対等に当たっていただきました。

（亘理 千鶴子副委員長）

前回3月の運営委員会の報告では、避難者交流会はとても盛況だったとのことですが、今回はどうでありましたか。

（小早川 良信係長）

今回の避難者交流会は幹事社協である調布で行われました。

小金井に避難されている方々にもお知らせを出しましたが、小金井からの参加者は居ませんでした。

避難者交流会には当事者の方は5、6名の参加でしたがアットホームな感じで参加された方はみなさん喜んでおりました。

また、当日は司法書士の無料相談会やファンケルのハンドマッサージなど行われ、利用されている参加者もいらっしゃいました。

バスツアーにつきましては、小金井からは2世帯の参加があり皆さん楽しく交流されていました。

委員長より他に意見を求めたが無かったので、打ち切りとし、次の議題に移った。

2) 事業予定について

委員長より事業予定について報告を求められたので、事務局は資料に基づいて平成26年12月から平成27年3月までの事業予定を報告した。

委員長よりこの報告についての質問、意見を求められ、以下の質疑応答並びに意見が交わされた。

(石原 弘一委員)

居場所づくりですが、子供の居場所づくりについて、ターゲットも細分化されていて、保健センターでは乳幼児のひろばをやっています。また、貫井北センターでは青少年の居場所として、学芸大学の中の「こども未来研究所(NPO法人)」に協力していただき、中学生・高校生などの居場所をつくっています。

小中学生の居場所として、いじめや不登校で学校や友達のところに居られない子供たちの居場所が必要ではないでしょうか。

子供の居場所といっても、ターゲットが広くなると思いますし、プラスして、高齢者の居場所や新しい地域の住民の居場所等、いくつもの居場所づくりが必要になると思うので、創り方に工夫が必要だと思います。例えば、基調講演の後、分科会として3グループぐらいのどこかに参加者が入れるようにするとかしてはいかがでしょうか。

(平野 尚委員)

この居場所づくり講座は、これから創ろうとしている人たちに向けたものですか？

(近江屋 哉子主事)

はい、そうです。

(亙理 千鶴子副委員長)

子供の居場所というと、私は児童館や学童保育所をイメージしますが、いろいろな子供たちのための居場所が必要なのですね。

(山路 憲夫委員長)

新たに生活困窮者支援法ができて、その方に向けて学習支援が始まりますね。いろいろな居場所ができていっている中に社会福祉協議会がどういう役割を果たせるのか、今は入り口段階なのであれこれ考えても進まないですね。

(近江屋 哉子主事)

関係機関ともっと話し合っただけでニーズを掴んでから詰めていけばいいと思います。が、ひきこもりや夜・夜中に遊んでいる若者たちのことを考えるといろいろなことが浮かんで来て、まだ漠然としている状況です。現在、〇〇大学のK先生に居場所

づくりについて講座も含め相談しているところです。

(石原 弘一委員)

K先生でしたか、先生の基調講演の中身の状況によってある程度の方向性が出てくるでしょうから、そこに社会福祉協議会としてどのように関わって組み立てていけるか考えてはどうでしょうか。

(近江屋 哉子主事)

K先生は非常に明確で、不登校の子供たちや低所得所帯で学校に行けなく働いている子供たち等、個々の問題を抱えている子供たちと学芸大学の学生と一緒にご飯を食べたりするなど子供を抱え込める形です。

(山路 憲夫委員長)

来年4月から、生活困窮者支援法が始まるので、例えば、小平でも制度的な支援が動いています。法制度がスタートするのでそれとリンクさせれば、いろいろな展開ができる可能性があるのではないのでしょうか。小金井市はどのようになっていますか。

(小俣 敏行常務理事)

生活困窮者支援法は来年4月から始まる制度ですが、小金井市では、これについては社会福祉協議会が相談窓口になってくれないかと、市から持ち掛けられています。

明日、社会福祉協議会の正副会長会議があり、市からのご要請を協議して、正式にお受けする形になれば、市と具体的に協議することになります。その中で小金井市は、生活困窮家族の子供さんへの学習支援は任意事業ですので、4月からすぐ取り組む方向ではありません、私ども社会福祉協議会は、出口のない相談窓口は出来ないのです、来年度すぐできなくても実施する方向で強くお願いするつもりです。

(古明地 節子委員)

国分寺市の社会福祉協議会は、来年から始まる制度を2年ほど前倒しして、既に市から委託を受けて社会福祉協議会が取り組んでいると聞いて、具体的に成果が出ている資料を頂いてきました。

(山路 憲夫委員長)

国分寺市はモデル事業のようですね。

(古明地 節子委員)

成果の話で、苦労話を聴かせてもらい、スタッフが強いエネルギーを持っていないと出来ないと感じました。

(小俣 敏行常務理事)

予算が絡みますので、市と協議するうえで学習支援をお願いしてまいります。

(渡辺 一弘委員)

民生委員の立場で、子育てが困っている方、高齢者で生活に困っている方等の情報が入るので、福祉課へ相談しています。

若者が困窮しているかは非常に分かりにくいので、どう見つけてどう対処するかが難しいですね。

(山路 憲夫委員長)

小平市でも、実態把握ができないようで、民生委員の情報は大変貴重になると思います。

(古明地 節子委員)

居場所づくりは、広範囲に幅を広げないで、K先生の講演を受けて的を絞るとか、ポイントを幾つかにした方が良いでしょうと思います。

(小俣 敏行常務理事)

小金井市として特色のある、個性的なものも含めて考えていきたいと思っています。

(渡辺 一弘委員)

私の地区でも、児童館や高齢者対象などがあります、やはり的を絞って考える方が良いでしょうと思います。

(森田 眞希委員)

居場所という意味は、建物とか場所とかのハード面ではなく、そこに関わる人自身が居場所になっていくことだと思っています。そこに参加された人は、誰かに気にかけてもらっていると感じられる。その気にかける人に多くの人になっていくことが大事だと思っています。

(山路 憲夫委員長)

いま、皆さんからたくさんのご意見を参考にしながら進めていただき、大変な苦労があると思いますが、初めてのことでですから頑張っていたいただきたいと思います。

居場所づくりについては、終わりにします。

3) 地域福祉コーディネーター実施報告と今後の活動

委員長より地域福祉コーディネーター実施報告と今後の活動について報告を求められたので、事務局は資料に基づいて報告した。

(山路 憲夫委員長)

まだ動き出したところですので、次回ご意見を頂戴したいと思いますので、地域福祉コーディネーター実施報告は終了します。

4) 平成 26 年度小金井市市民協働支援センター準備室業務報告

委員長より平成 26 年度小金井市市民協働支援センター準備室業務報告について報告を求められたので、事務局は資料 4 に基づいて、平成 26 年 7 月から 10 月までを報告した。

委員長よりこの報告についての質問、意見を求められ、以下の質疑応答並びに意見が交わされた。

(森田 眞希委員)

先日、市の職員に来ていただき、市と N P O 法人が協働して活動していく方向が良く分かったので有り難かったです。

(山路 憲夫委員長)

他に意見がないようなので、次の議題に移ります。

5) 平成 27 年度 小金井ボランティア・市民活動センター事業計画 (案)

委員長より平成 27 年度小金井ボランティア・市民活動センター事業計画 (案) について報告を求められたので、事務局は資料に基づいて報告した。

委員長よりこの報告についての質問、意見を求められ、以下の質疑応答並びに意見が交わされた。

(山路 憲夫委員長)

この計画は(案)となっています。これはもう一回運営委員会を開いて詰めていくことになっています。これを踏まえてご意見をお願いします。

(石原 弘一委員)

地域福祉コーディネーターは、新しい動きになるので、一本筋の通った役割をきめて充実していく必要があるのではないのでしょうか。

(小俣 敏行常務理事)

地域福祉コーディネーターは、小金井ボランティア・市民活動センターに所属しているわけではありません。社会福祉協議会の地域福祉系の所属となります。しかし地域との関連性は多分にありますので、そこの整理をどうするかこれから考えていきたいと思います。

(石原 弘一委員)

地域福祉コーディネーターは一人だけで、しかも週2回だけで十分に活動するには無理ではないのでしょうか。周りの人たちが支えていけるような、応援団のようなものを組織していくと地域福祉コーディネーター事業が有意義になっていくと思います。

(山路 憲夫委員長)

今のご意見は、3月までよく詰めて案を練っていただくことになりますがそれで宜しいですね。

(平野 尚委員)

居場所のことですが、私の所ではいろいろな方が得意としている、必要としているものに集まっています。写経同好会、お寺のお坊さんが勉強する塾、お花同好会、介護支援をしている人たち等のたまり場的なものも居場所と言えますか。

(近江屋 哉子主事)

はい、全て居場所づくりになっていくと思います。

(大木 克之事務局次長)

行政は、場所としてはハード面のこと、私たちはソフト面のことを重視していく

というように、行政とは違った面で存在感を示すことも必要ではないでしょうか。

(平野 尚委員)

ソフト面で、上からの目線で作っていくのか、下から拾い上げて作っていくのか、やり方があると思いますが。

(森田 眞希委員)

この事業は、平野 尚さんのような意識を持った人を育て上げてくことのように思います。

(平野 尚委員)

私は良くわかって進めているのではなく、技術面でも予算面でも提供してやっていますが、そこから得られる情報が素晴らしく、お金では買えない光るものがあるので、それらを組み合わせていくと違う段階になっていくと思います。

(古明地 節子委員)

その方向はとても素晴らしいことだと思います。

(山路 憲夫委員長)

小平でも、居場所については空き家もたくさんあるので、呼びかければ提供してくれるのではないですか。

(古明地 節子委員)

空いているところは確かにありますが、個人で頼むと断られるので、社会福祉協議会や行政から声掛けしてくれれば使えるようになりますね。

(山路 憲夫委員長)

空いている所はあるし、人もいるようですが、難しいことも出てくるので、もう少し時間をかけて考えていきましょう、結論は出ませんので。

他にご意見がありますか。

(森田 眞希委員)

施設側がボランティアを安易に使っていることで、夏のボランティア体験から育っている人が潰れてしまうことも有るので、大事に育てていく方法も考えた方が良

いのではないのでしょうか。体験が終わった後、施設側とボランティア側が集まって、感想を発表しあうなどの交流が必要です。

(山路 憲夫委員長)

この件については次回も検討しますので、終わりにします。

6) その他

委員長より質問、意見を求められた。

(松井 太平委員)

私は、働く世代ですが、偶々商店会長になって多くの人から相談事を持ち込まれる、イベントの企画への助言とか、商工業者がやり易い場所づくり、街中に小さな図書館づくりを考えているので、お手伝いいただけることを期待しています。

(山路 憲夫委員長)

地域の場所づくりですね。ここにはスタッフがたくさんいるので協力してもらえらると思います。最後にご意見があればお願いします。

(雨宮 安雄委員)

私の所は、障害者に対する居場所で、声をかけて来てもらいたいのですが、移動手段がなく来られないのが現状です。

「障害者週間」中に、交流センターでパラリンピックに出場された方との対談があったのですが、その方は練習する場所が無く、有っても規制が厳しいので使いづらくて困っている、何とかならないかとのことでした。

(緒方 澄子委員)

私は、高齢者が集う場所のお世話をしている立場ですが、一期生の初め頃から関わって5年くらいになります。最近利用者が少なくなっています。近くに有るのに来てもらえないのはなぜなのだろうかと方法を考える時期だと思います。

委員長よりほかに意見を求められたが、質問、意見等はなかったため、平成 26 年度第 2 回小金井ボランティア・市民活動センター運営委員会は終了した。

以上